



9月21日、第二小学校体育館にて『シャッフルボード大会』を開催しました。

シャッフルボードは、二つのチームが互いにバックを打ち合い、点数を競うカーリングに似た競技です。参加者は、小学3年生から80代までの総勢32名。バックをコントロールする技術だけでなく、相手のバックをはじいたり、妨害したり、頭もフル回転が必要です。うまくいったときの喜びや、してやられたときの悔しさもゲームの面白さのひとつです。どのチームも一丸となり楽しく有意義な時間を過ごしました。



●講座でスキルアップ

●スマホ講座

なかなか使いこなせないスマホ。そこで、スマホのスキルアップのための講座をいくつか開催しました。まず、9月1日と8日に11名の方を対象にPayPayでの決済の方法を学ぶ講座を、12月24日には7名の方を対象に、第一包括支援センターとの共催で、基本操作に加え詐欺に遭わないための講座を開催しました。また、2月2日と9日には、中村有紀先生を講師



に迎え、「基本のキ」をテーマにスマホと親しくなる教室を6名の参加のもと開催しました。少しでもスマホが役に立つといいですね。

●天文教室



9月27日、おなじみ水谷潔さんの天文教室を開催し、11名の受講者の皆さんに天体模型の工作と望遠鏡で土星の細いリングと月を観望しました。

●歴史講座



3月9日、門暉代司氏を講師に迎え、豪商となった三井高利の家族や家訓、時代背景に加え高利の経営哲学がいかに革新的であったかを学びました。

●ハイキングで元気をチャージ



11月23日、19名の参加のもと明和町の竹神社から斎宮の復元建造物をめぐる「ふれあい街中ハイキング」を楽しみました。



また、1月11日、12名の参加で、八雲、御厨、松阪の三社をめぐる新春ウォーキングを実施しました。御厨神社では温かいぜんざいの振る舞いを受けました。

●健康ウォークを応援



12月21日、松阪マラソンの一環として開催された健康ウォークの参加者約1400名の皆さんを神戸まちづくり協議会のスタッフといっしょに、お茶とお菓子の配布と音楽で応援しました。当日は、雨模様でしたが、参加された皆さんは、元気にウォークを楽しんでいました。

●こどもの健やかな成長

●昔のおそび・昔のくらし



12月16日、午前第二小2年生27人が紙でっぽう、かぶと、紙ひこうき「おりがみ」を体験。作品ができると子どもたちは体育館を走り回り、

紙でっぽうを鳴らしたり、紙ひこうきを飛ばして楽しみました。午後には5年生の29人が、「こま、お手玉、あやとり、ヨーヨー、けん玉」の5種類の昔のおそびを体験。TVゲームとはまたちがった身体と頭の使い方は、こどもたちを成長させたかな。



また、1月20日には、3年生の児童29名を対象に昔なつかしい七輪を使っての火起こしと餅焼き、アラレ煎り体験授業を行いました。

餅が焦げてしまったり、アラレに芯が残ってしまったり、大変でしたが、子どもたちの表情はすごく真剣、たいへん楽しく、貴重な体験になったことでしょう。



2月3日には、4年生35名の子どもたちを対象に「たこあげ体験授業」を総合運動公園（山下町）で行いました。まずは洋風風（カイト）組み立て後、たこあげに挑戦です。カイトは、非常にあげやすく、高く高く空へ吸い込まれていきます。地域の大人と触れ合いながら、伝統的なおそびを楽しんだ一日となりました。



●芸能大会



10月19日、第二小学校体育館にて13クラブ、総勢74名の参加により芸能大会を開催。芸術の秋に日頃の練習の成果をご披露していただきました。



●文化祭

●公民館まつり

11月8日、パッチワークや絵手紙、レカンフラワーなど、クラブの作品を第二小学校の文化祭に参加する形で展示し来訪者に観覧していただきました。

2月11日には、農業屋コミュニティ文化センターにて開催された公民館まつり「芸能発表会」に、第二公民館で活動している「鳴美会」が出演、力強い太鼓の演奏を披露しました。



●社会見学



11月20日、19名の参加を得て亀山ローソクの工場と関宿へ社会見学を行いました。日本で一番売れているローソクの技術とそれを支える仕組み、また、関宿の街道の歴史ある雰囲気に見聞を広めることができました。



●あったかごはんプロジェクト

12月23日と1月23日、生活にお困りの方の生活応援のため、それぞれ100セットと60セットのおにぎりとお菓子をお配りしました。あったかい何かを感じていただければ幸いです。



●防災のまちづくり



10月26日、小学校にて防災訓練を、また、2月14日には、災害時のトイレの現状とノウハウについて、防災ボランティア春告鳥代表の三浦洋子さんを講師に迎え、防災講演会を開催しました。

●第二キッズの子どもたちとの交流



10月29日、放課後児童クラブ「第二キッズ」の児童28名といっしょにハロウィンを、また、12月24日には、クリスマスを行い、ゲーム、そしてプレゼント交換など楽しい時間をいっしょにすごしました。地域の大人が見守りが子どもたちに伝わったといいですね。

●キッズ認知症サポーター養成講座

12月4日、第一包括支援センターの皆さんと、第二小学校6年生を対象に認知症サポーターの養成講座を開催しました。

講座では、認知症の原因と症状を学んだあと、実話をもとにした絵本の朗読や認知症の症状を寸劇を見て、接し方を考えてもらいました。



●元気アップ講座

●みんなで歌って元気アップ

11月17日と1月19日、3月2日にそれぞれ20名ほどの参加のもと、越知先生を講師に迎え、「みんなで歌って元気アップ!」を開催しました。まず先生から、「自分なりに」とアドバイス。そして1時間余り、ピアノの演奏にのって季節の歌をいっぱい歌い、文化、季節、平和などたくさんのかんじながら、元気をいただく講座になりました。



●元気アップ体操

10月16日と12月18日と2月19日、それぞれ15名と14名と13名の参加者を迎え、山中美幸先生の「元気アップ体操」を開催しました。早口言葉や指先の運動からはじめ、徐々に腕や足を動かす難しい動きにも挑戦、参加者は皆、身体が温まり心身ともに元気アップできたかな?



4月1日 第二地区コミュニティセンターがオープン 協議会が管理運営します！



今年度（4月1日）から、第二公民館が新たに第二地区コミュニティセンターとして、生まれ変わります。これは、松阪市全体の施策によるものであり、20館あった地区市民センターや市街地公民館である第一、幸、第四公民館なども同時にコミュニティセンターになります。

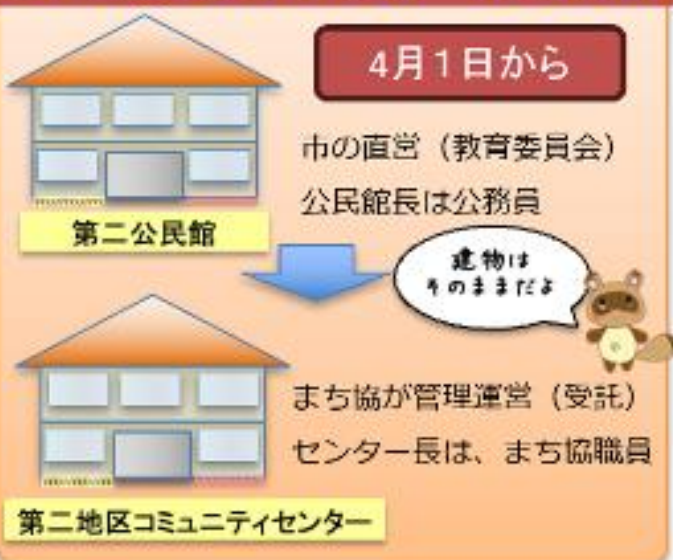
第二地区は、この変化に加え、コミュニティセンター自体の管理運営を施設の指定管理者として、まちづくり協議会が行うことになっており、これも市の流れに沿った動きでもあります。

「指定管理者制度」とは、これまで市などの自治体が直接行ってきた公共施設の管理を、民間団体やNPO、地域づくり団体などが代わりに行う仕組みのことです。この制度の最大の目的は、民間のノウハウやアイデアを活かすことで、住民の皆様へのサービスをより向上させ、施設を活性化させることにあります。

私たちは、地域の皆様にとって最も身近な拠点であるこのセンターを、これまで以上に「使いやすく、親しみやすい場所」にしたいと考えています。従来の事務的な管理にとどまらず、地域課題に寄り添った独自のイベントの企画や、利用者の方々の声を反映した柔軟な運営を目指していきたいと考えています。

運営主体は変わりますが、公共施設としての役割に変わりはありません。誰もが安心して集い、交流できる場を守りながら、新しい風を吹き込んでいく所存です。4月からの新しいコミュニティセンターにどうぞご期待ください。

コミュニティセンター化のお話



福祉まるごと相談室がオープンしました



12月19日、第二公民館（現第二地区コミュニティセンター）内に「第二・東 福祉まるごと相談室」が開設されました。

これは、第二・東地区において日々の暮らしの中での困りごとや悩み、健康や福祉に関する身近な窓口です。地域の頼れる相談先として、ぜひご活用ください。



●発行 第二地区まちづくり協議会 〒515-0033 松阪市垣鼻町633

連絡先 協議会 0598-20-8402 センター 23-6107 <http://dai2.life.coccan.jp/>

